

武蔵野の森を育てる会・会報

平成 20 (2008) 年 9 月
武蔵野の森を育てる会

私たちの会は、平成 17 (2005) 年 4 月の境山野緑地開園とともに生まれ、同緑地に生態系豊かな雑木林を育てることを目標に活動しています。日常的なゴミ拾いと植物管理のほか、植樹活動、植物調査、各種研修など森を育てるために必要な取り組みを積み重ねてきました。地域の学校等との連携、緑地内産物の活用なども行い、地域のなかでの交流を大切にしながら活動を進めています。

※ 会員でない方も、どうぞ作業にお気軽にご参加ください。気分爽快ですよ！お待ちしております。
(日程は、境山野緑地 (さかいさんやりよくち、武蔵野市境 4-5) 正面入り口脇の掲示板に貼っています)

～今年度の活動をふり返ると、以下のとおりです～

森を育てる

植物の生長を助ける

- 平成 17 年に植樹してロープ柵で囲ってある部分 (市立第二小学校との連携で植えたので、二小ゾーンと呼んでいます) 早く樹木が生長して雑木林になるのを助けるため、蔓や強い外来種を除去する時を除き、極力立ち入らないようにしています。
- 緑地内で実生から育つ在来の落葉樹 極力切らずに生長を見守り、雑木林空間が広がるのを促しています(果樹ゾーンを除く)。
- 緑地西側の草地となっている部分 (果樹ゾーン) 可能な範囲で外来種を抜き取るとともに、なるべく低く草を刈るよう心がけています。



竹林の保全

緑地内にある竹林は、さまざまな活用方法があります。4月以降、見回り担当を中心に維持管理や活用方法の検討に力を入れてきました。

植物の実態を調べる

- 緑地全体の植物の把握 植物相調査というやり方で、緑地全体にどのような植物が生育しているのかについて記録しています。これにより、境山野緑地の価値や特徴を理解するとともに、植物に配慮した適切な保全・管理に活用しています。
- 植生の経年変化の調査 二小ゾーンに 10m 四方の固定調査区を設け、植生や樹木を調査することを試みました。今後、継続的に行うことで、木の成長や枯死、雑木林の発達に伴う植物種の入替わりなどを把握し、管理方針に役立てることができそうです。

ドンダリの苗を育てる

- 昨年豊作だったドンダリ 昨秋生ったドンダリ (クヌギ、コナラ) を緑地内で育てています。将来、雑木林の再生や拡張のために活用できればと考えています。
- 圃場で苗の育成 市緑化環境センターに用意していただいた圃場 (苗床) で、第二小学校の先生と子どもたちの協力を得て、ドンダリ苗の世話をしています。



森について学ぶ

雑木林の見学 境山野緑地を生態系豊かな雑木林に育てる方法を学ぶため、研修に力を入れています。とくに、他地域の雑木林の実態や管理状況の見学を継続的に行っています。今年は、5月に都立小宮公園、7月に「おおたかの森」(埼玉県所沢市)に行きました。どちらも広い雑木林で、それだけに学ぶこともいろいろありました。



樹上の巣の観察

生き物の勉強会 雑木林には、たくさんの生き物が棲んでいます。そのような生き物のくらしの点から雑木林のあり方を学ぶため、講師を招いて6月に昆虫、7月に野鳥の勉強会を行いました。熱心に受講したため、講師の方からはいいお話をたくさんうかがうことができました。

次世代に伝える

第二小学校との連携 5月から6月にかけて、武蔵野市立第二小学校の先生方の植物研修(5月20日)、1年生のネイチャーゲーム(6月18日、むさしのネイチャーゲームの会の協力を得ました)、5年生のコナラ実生の移植活動(6月18日)に協力しました。移植したコナラは、圃場で育てています。



1年生のネイチャーゲーム



草刈に精出す学生たち

ボラセンとの連携 昨年につき、ボランティアセンター武蔵野主催「2008年夏!体験ボランティア」に協力しました。8月に延べ13人の高校生・大学生が草刈を中心に大活躍!参加者にとっても、いい経験になったようです。感想文より抜粋:「蚊に刺された痒みも感じないほどに熱中できました」「普段気づかない「草のにおい」を感じました」「地域の役に少しでも立てたことが嬉しかったです」

地域・社会への発信

HP、リーフレット、掲示板 ホームページで、会の概要や活動状況を発信しています(<http://mnomori.org/default.aspx>)。この夏にはリーフレットも改訂しました。緑地入り口そばには掲示板があり、活動予定やトピックスなどをお知らせしています。



物置脇にある掲示板

武蔵野の森を育てる会の目的

武蔵野の雑木林や森を大切に、自然の生態系をより豊かにしていくため、境山野緑地の保全と活用を行なう(会則より)

境山野緑地の将来像

武蔵野の原風景にふさわしい野草や樹木が育ち、それを好む野生の生き物(昆虫、野鳥など)が集まり、全体として生態系の豊かな雑木林ができあがる。

留意点 見通しなど安全性の確保/子どもが自然のなかで遊べる/
大人も憩いの場として親しめる

—生態系ピラミッド—



(財)日本生態系協会ホームページより